

「バイオ戦略フォローアップ」(2021年6月決定)のポイント

- 全体目標として「2030年に世界最先端の**バイオエコノミー社会**を実現」するため、我が国の強みを活かしつつ**市場領域を拡大**
- 気候変動問題**への対応の更なる加速や**ワクチン・治療薬**等の開発競争の激化など情勢変化を踏まえ、**戦略の実行構想を示す**べく、これまでの戦略をブラッシュアップした「**バイオ戦略フォローアップ**」を策定

バイオ関連市場の拡大

2030年時点で**総額92兆円**の市場規模を目指し、**市場領域施策**を推進

【2030年の市場規模目標】

1 2025年 2 市場規模は公的保険外ヘルスケアサービス

バイオ製造

高機能バイオ素材、バイオプラスチック、
バイオ生産システム等

[53.3兆円] 32.5兆円(2018年)

一次生産等

持続的・一次生産システム
[1.7兆円] 0.3兆円(2018年)

木材活用大型建築、スマート林業
[1.0兆円] 0.5兆円(2018年)

健康・医療

生活習慣改善ヘルスケア、機能的食品等
[33.0兆円¹] 25兆円(2016年)²

バイオ医薬品・再生医療等関連産業
[3.3兆円] 1.5兆円(2020年)

○ バイオものづくりの実践やバイオプラスチックの導入

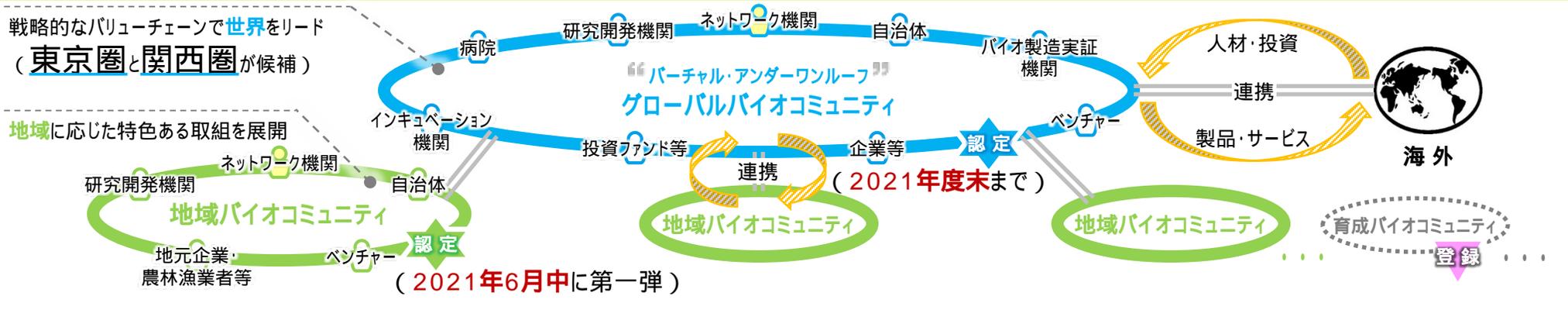
○ 「みどりの食料システム戦略」によるカーボンニュートラルの推進

○ ワクチンを含む**バイオ医薬品等の開発・生産体制**の強化

バイオコミュニティの形成

人材・投資を呼び込み、市場に製品・サービスを提供する体制

全国に**コミュニティ群**を形成し、成長を支援することで、**バリューチェーン**を構築



データ基盤の整備

研究開発・事業化に必要なデータ基盤

幅広く、柔軟な**データ連携**を可能とする環境を構築

バイオものづくり支援
プラットフォーム

土壌関連
データ

スマート育種
プラットフォーム

食・マイクロ
バイオーム・健康
情報データ

ゲノム・データ



バイオデータの連携・利活用に関するガイドライン(仮称)

バイオコミュニティの形成について

【グローバルバイオコミュニティ】

- 研究開発から事業化までに多様な主体が関わる**戦略的なバリューチェーン**を構築し、**世界**をリード
- 東京圏**と**関西圏**が候補
- 2021年度末**までに公募・認定

【地域バイオコミュニティ】

- 地域**に応じた**特色ある取組**を展開
- 幅広い地域**からの積極的な参入を想定
- 2021年6月中**に第一弾を認定、原則として**毎年度**公募
- 認定されなかったものの、**今後の成長が期待**されると判断された場合には、**育成枠**に登録可能



令和2年度「地域バイオコミュニティの形成」選定結果

- 2021年3月31日～4月30日に地域バイオコミュニティの第一弾の公募を実施
- 書面審査及び面接審査を行い、**4件の地域バイオコミュニティの認定**と**1件の育成バイオコミュニティの登録**を決定

	バイオコミュニティ名	取組概要	対象市場領域								
認定	北海道プライムバイオコミュニティ 北大、北海道、北海道科技総合振興センター等	一次産業のスマート化による労働生産性の向上や、 環境に配慮した生産技術の研究・事業化、北海道バイオブランドの確立 を図り、誰もが 農林水産業に従事したくなる 地域を目指す									
認定	鶴岡バイオコミュニティ 鶴岡サイエンスパーク/慶大、鶴岡市、スパイバー 等	鶴岡サイエンスパークにおける バイオ系先端研究機関、教育機関、バイオベンチャー 等の多様な機能を活用し、 医療や環境 など社会的課題への対応や地域の雇用拡大を目指す									
認定	長岡バイオコミュニティ 長岡市、長岡技科大、長岡高専、JA 等	コメや未利用バイオ資源のバリューチェーン を構築し、既存のバイオ産業とものづくり産業の融合による新産業の創出を図り、 地域資源循環 の促進・高度化を通じた循環型社会を実現									
登録	東海バイオコミュニティ 名大、岐阜大、三重大、愛知県、岐阜県、三重県、農林中金 等	ネットワーク機関の法人化を通じた体制強化により課題からのバックキャストを進め、 無給餌養殖、森林ビジネス、バイオマスプラスチック、作物市場創生、スマート農業 といったテーマごとに産学官のプラットフォームを設定し、 研究開発や社会実装の一体的な推進 を目指す									
認定	福岡バイオコミュニティ 福岡県、久留米市、九大、久留米大、ポナック 等	久留米市を中心とした バイオ産業拠点化 に取り組む中で、 創薬・医療、食品、スマートセル といった強みを生かし、社会的課題の解決に資する 技術シーズを早期に実用化 するエコシステムを構築									

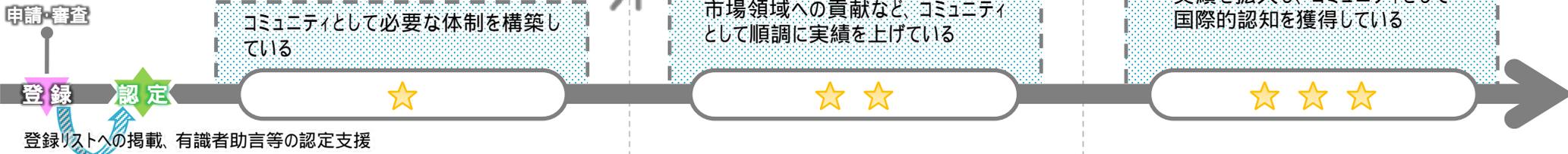
【参考】 9つの市場領域

高機能バイオ素材、 バイオプラスチック、 持続的一次生産システム、 有機廃棄物・有機排水処理、 生活習慣改善ヘルスケア、 機能的食品、 デジタルヘルス、 バイオ医療・再生医療・細胞治療・遺伝子治療関連産業、 バイオ生産システム、 バイオ関連分析・測定・実験システム、 木材活用大型建築・スマート林業

認定を活用した(地域)バイオコミュニティの成長イメージ

- 1 バイオコミュニティが適切に機能するためには、単なる認定だけではなく、**拠点としての役割を果たせるようにする仕組み**の構築が必要
- 1 このため、コミュニティの活動に集中的に取り組める体制を整備する観点から、**認定要件を設定するとともに、認定を受けた地域に対し、施策をパッケージとして総動員**することにより、成長を強力に支援

成熟度評価(自己評価+国による評価)を通じた段階的な成長支援の下、構成主体が連携してステップアップを目指す



「**コミュニティが備えるべき要素**」としての認定要件

認定を受けた地域に対する**施策パッケージ**

地域バイオコミュニティの要件

世界で通用しうる「**強み**」



主要な主体(研究開発機関、地元企業・農林漁業者、自治体等)と**キーパーソン**



調整・連携機能等を担う**ネットワーク機関**



あるべき姿と具体的な**実施計画**

- ポテンシャルや成熟度の測定のためのデータ・指標等を提出
- データの共有・利活用を促進する仕組みの整備を図る

国とコミュニティとの**意見交換**、中央における**全体のコミュニティ化**

各種支援や規制の在り方等に関するコミュニティのニーズを国が一元的に収集・把握し、ボトルネックを解消

コミュニティに資する国の**各種施策の最適な活用**

(例) 産学連携拠点の形成(共創の場形成支援) [文]、バイオ製造実証機関の整備 [経]、アグリバイオ拠点の構築 [農]、バイオマス産業都市 [農]、
「知」の集積と活用の場 [農]、地域循環共生圏の形成 [環]、スタートアップ・エコシステム拠点都市 [科技]、スマートシティの展開 [科技]

関係府省庁が連携して支援し、基盤整備や人材育成を更に促進。新規施策と国の戦略との接続を強化

認定ロゴマークの使用権付与、コミュニティの**成熟度の評価**、国等による国内外への**情報発信**

コミュニティの活動を見える化・ブランド化し、人材・投資の呼び込みや市場領域の拡大を促進

適切なタイミングでの**研究成果の開示の条件化**など、研究アイデアを個別に共有する仕組みの検討

研究の初期段階から産学連携を活性化し、研究シーズの事業化を更に促進

コミュニティにおける**効果的な水平分業の促進**(CMOやCDMO等の活用)

事業創出拠点としての機能を強化し、一気通貫した製品・サービスのバリューチェーンを構築

【参考】 バイオコミュニティの認定ロゴマーク

- | バイオコミュニティについては、専用の**認定ロゴマークを設定**することで、国として活動の**ブランド化**を後押し
- | ロゴマークは、「10年使える」・「シンプル」・「流行に左右されない」を前提に、「**多様性の集約と連携**、**成長のイメージを表現**」というコンセプトの下、バイオ戦略有識者による議論を経て決定
- | 2021年に6月に認定される**地域バイオコミュニティの第一弾から**使用権の付与を開始する予定

> グローバルバイオコミュニティ

Global



> 地域バイオコミュニティ

地域



- n 「**多様性**」を4色（バイオエコノミーが拓く「4つの社会像」に対応）の色味で表現
- n 「**集約と連携**」をドットの集まりで表現
- n 「**成長**」をドットが集まり「B」を形成していく過程で表現